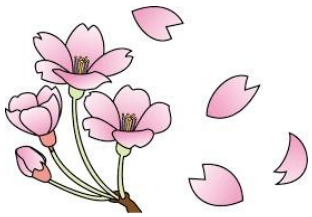
多久市在宅介護支援センター

天寿荘だより



令和 2年 3月号 №349

日ごとに春めき、桜の開花も待ち遠しくなりました。花見など、外出の機会も増えてきます。
しかし、加齢とともに“耳の聞こえ”が悪くなり、人の話が聞こえないからと外出を控え、閉じこもりがちになる方も多いようです。
そこで今回は、高齢難聴者への対応についてお知らせします。

【 2月の活動件数 151件】

●申請手続き代行

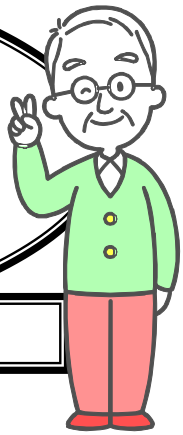
・配食サービス・見守り事業	2件
・生活管理指導員派遣	1件
・生活管理短期宿泊	0件
・緊急通報システム	0件
・紙おむつ支給申請	0件

●訪問・相談業務

・高齢者実態把握	17件
・医療・介護に関すること	123件
・その他	8件

介護や生活の上でお困りのことがあれば、
いつでもご相談ください。

天寿荘　電話74－3100
天寿荘在宅介護支援センター　直通74－4818
坂井賢一　村島勲　納富敦子　尾形ひとみ



天寿荘居宅介護支援サービス事業所便り

はつらつ

令和 2年 3月号 №156

高齢難聴者への対応

難聴者の特徴

① 小さな音が聞こえない一方で、大きすぎる音
には敏感で不快になってしまう。（難聴の補充現象）
② 音として聞き取れるのに何を話しているか
‘言葉の聞き分け’が難しい。（音声の明瞭度の低下）
③ 高い音域やカ・サ・タ行などが聞こえにくく、全体的に
ハンカチを口に押し当てて発声されたようなハッキリしない
感じに聞こえる。

高齢難聴者に分かりやすい話し方

●細かく区切りすぎず、句読点を目安に間をおいて
●早口にならず、ゆっくりと自然な抑揚をつけて
●語尾を曖昧にせず、文末まではっきりと
●自分の顔を逆光にせず、相手の顔を見て
●複数の人が同時に話さず、一人ずつ
●雑音や反響の少ない場所で話しましょう。

聞き取っていても言葉の意味がわからない場合もあります。
相手がわかりやすそうな言葉で、同じ内容を説明しましょう。

～大沼直紀氏月刊「デイ」2011年2月号：特集「こもりがちな高齢者へのアプローチ」より引用～